

■文室珍努(浄三) (皇族出の)公卿。技術官僚。紫香楽宮造営や皇后陵墓築造，吉備真備に立太子画策されるも固辞。

ふんやのちぬ

・ ・ ・ ・ ・ 693＝ 生。\_天武天皇の第4皇子一品長親王の子。初め智努王と称し，

持統天皇没・ 702＝ 9歳：

平城京遷都・ 710＝17歳：  
・ ・ ・ ・ ・ 711＝18歳：

行基活動禁圧 717＝24歳：蔭皇親により無位から従四位下に叙せられた。

藤原不比等没 720＝27歳：

渤海交流始・ 728＝35歳：\*この年に夭折した皇太子のために山房が造られることになり，その造山房司長官に任ぜられた。  
長屋王の変・ 729＝36歳：

藤原四卿没・ 737＝44歳：  
橘諸兄右大臣 738＝45歳：

国分寺建立詔 741＝48歳：\_木工頭から恭仁京遷都に伴い造宮卿となり，左右両京を定めて百姓らに宅地の班給をし，  
壘田永世法・ 742＝49歳：\*紫香楽宮造営の造離官司を兼ね，この時期の一連の造宮工事に功績をあげた。

大仏鑄造始・ 747＝54歳：\_従三位に昇進し，

大仏開眼・ ・ 752＝59歳：\*文室真人の氏姓を賜った。この年，左大臣橘諸兄の宅に行幸があったとき，肆宴に列して詠んだ歌1首が「万葉集」に載せられている。自宅に写経所を設け，またこの頃，亡夫人茨田郡王(法名良式)のため檀主とな

って仏足石を作らせた。

鑑真来日・ ・ 754＝61歳：撰津大夫に任ぜられたが，\_太皇太后(藤原宮子)，それに続く聖武天皇の大葬の折には御装束司を務めた。

聖武天皇没・ 756＝63歳：

橘奈良麻呂乱 757＝64歳：皇太子道祖王を廃する議に列席，新たな皇太子に池田王を推したが成らなかった。治部卿に任ぜられ，

孝謙天皇讓位 758＝65歳：\_参議となり，出雲守を兼任。藤原仲麻呂の官号改易の議にあずかった。

万葉集最終歌 759＝66歳：慈訓と僧尼の肅正を請う封事を奉っている。

光明皇后没・ 760＝67歳：中納言に任ぜられ，\_光明皇后崩御に伴って山作司となる。

・ ・ ・ ・ ・ 761＝68歳：\_正三位に昇叙されたが，このときから浄三と改名している。

新羅征討計画 762＝69歳：\_御史大夫(大納言)に昇進，年老い力衰えるをもって特に宮中で扇・杖を用いることを許された。神祇伯を兼ねた。  
恵美押勝の乱 764＝71歳：従二位に昇叙されたが，\*仲麻呂が乱を起こす直前，老齢を理由に致仕を願い出て許され，詔により几杖・新銭十万文を賜わり，また職分なども全給されて厚遇された。  
・ ・ ・ ・ ・ 765＝72歳：

宇佐八幡神託 769＝76歳：

称徳天皇没・ 770＝77歳：\_称徳天皇崩御に伴って起こった皇嗣問題で，吉備真備から皇太子候補に推されたが固辞し，没した。